



白聖はくあ

第13号 令和3年12月13日発行



【志望理由書とは】

一言でいうと「大学で何を学ぶ意思があるのかを確かめる」ものです。志望理由書を通して、大学でどう学ぶのかという計画（プロジェクト）をもち、確固たる意志を持っているかが問われます。そのため、①学部・学科の選択理由、②大学の選択理由を書くといいでしょう。

《①学部・学科の選択理由》

「この学部・学科で計画（プロジェクト）を行うには、こういう意義がある」ことを伝えよう。

研究テーマとして

- ・ 目的意識（誰のために、何のために）
- ・ 具体的な研究テーマ（何を）
- ・ 研究テーマを扱う学問領域（どのような領域で）
- ・ 研究テーマを取り扱う手法（どのように研究するか）

研究の重要性として

- ・ 現実の理解（何が明らかになっていて）
- ・ 問題点・課題（何が不明確で）
- ・ 問題・課題解決の方針（どうすれば解決できるか）
- ・ ビジョンの提示

（研究を通してどういう未来を創るか）

《②大学の選択理由》

志望校では「計画（プロジェクト）が、このように実行できるので志望する」ことを伝えよう。

研究に必要なリソースとして

- ・ 研究に必要な学問（身につけるべき学問）
- ・ 研究を推進する環境（研究室・ゼミナール）
- ・ 研究の支援者（専門分野を持つ教授）

大学への進学必要性として

- ・ 授業の活用（受講したい講義）
- ・ カリキュラムとの適合性（研究活動との関連性）
- ・ 研究支援者の存在（専門分野を持つ教授）

前回の12号では、「学力の3要素」を紹介しました。

①実際の社会や生活の中で生きて働く

「知識及び技能」

②未知の状況にも対応できる

「思考力・判断力・表現力」

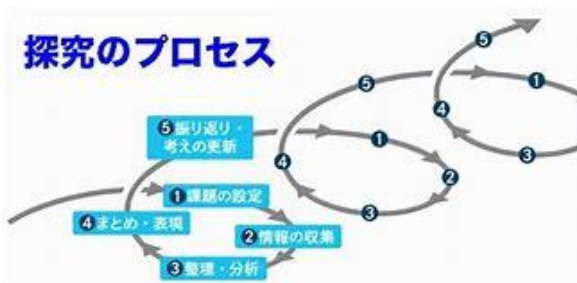
③学んだことを人生や社会に生かそうとする

「学びに向かう力、人間性等」

まず、③「学びに向かう力、人間性等」とは、主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度のことであり、「社会の構成員として、どう未来を創るか」ということです。③の基盤にあるのが②「思考力・判断力・表現力」です。これは知識・理解を活用して、自ら課題を発見しその解決に向けて探究し、成果等を表現する力のことで、自分で手に入れた既存の知識や技能を論理的に組み合わせることであり、分析・論理思考を用いているといえます。そして、②の土台になるのが①「知識及び技能」になります。

志望理由書では特に「学びに向かう力、人間性等」や批判・創造思考が問われます。それは、大学が知の最先端、まだ見ぬ世界を見ようとするところだからです。未来を創ろう・見えない世界を見に行こうという高い志を持ち「こうしていきたい」という提案ができる受験生を評価したくなるわけです。

一方、志望理由書を知識・理解と分析だけで語ると、過去と現在の話のみで終わってしまい、未来について自分の考えを述べられていません。大学で「知」を生み出したいと願う人はここだけで立ち止まらず、自分で研究テーマを設定し、仮説を立て、調査・実験・検証を繰り返し、自分なりの答えを見出したいという、未来に向けた志や希望について書くことができます。このような活動はまさに「総合的な探究の時間」になります。



「総合的な探究の時間」で行われるゼミ活動とは、自分の興味関心のあるテーマについて課題を設定し、その課題の解決を図る主体的・協働的な学習活動を通して、問題解決の能力や自発的、創造的な態度を育てる活動です。実は、**志望理由書と総合的な探究の時間は密接に繋がっている**のです。

自分で研究テーマを設定し、仮説を立て、調査・実験・検証を繰り返し、自分なりの答えを見出す探究活動では、次の9つの力を伸ばすことができます。

「知力・学力」「課題発見力」「論理的思考力」
「課題解決力」「原因分析力」「受信力・発信力」
「協働力」「行動力」「自己実現力」

これらに「自己管理能力」が加わり、本校が掲げる「**青高力 ～身につける10の資質・能力～**」になります。皆さんが青森高校を卒業した後に、大学や職場など様々な社会活動で活躍してもらえるように身につけてもらいたい資質・能力が青高力になります。

これらの10の資質・能力を身につけてもらいたいと思い、本校では以下の様々な教育活動を行っています。

本校の教育活動と青高力

青高力を育てていくための主な教育活動をまとめたものです。

行事・活動名	○:育てたい力 ◎:もっとも育てたい力									
	体育祭	職業ガイダンス	大学・トリム講座	青高祭	遠足	芸術教室	修学旅行	定期考査	実力テスト・校内模試	ゼミ活動
実施月・学年	6月全	6月1年	6月2年	7月全	9月全	10月全	12月2年	通年全	通年全	通年全
知力・学力						○	○	◎	◎	◎
課題発見力		○	○						◎	○
論理的思考力								○	◎	○
課題解決力				○			○	○	◎	○
原因分析力							○	○	◎	◎
受信力・発信力		○	○	◎		◎			○	○
協働力	◎			◎	◎		◎		◎	○
行動力	◎			◎	○		○		○	○
自己管理能力	○				○		◎	○	○	◎
自己実現力		◎	◎						○	◎



めざす生徒像の実現に向けて、本校では10の資質・能力（青高力）を定義し、青高力が身につくよう日々の教育活動に取り組んでいます。

青高力 身につける10の資質・能力

知力・学力	課題発見力	行動力	協働力	受信力・発信力
論理的思考力	課題解決力	原因分析力	自己管理能力	自己実現力

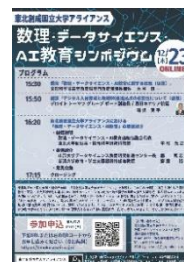
10の資質・能力とは？

知力・学力 …各教科の内容を理解し、それを活用する力及び技能
課題発見力 …複数の統計や資料から、改善・克服すべき課題を設定する力
論理的思考力 …客観的データや先行研究をふまへ、自らの理論を紡ぎ立てて構築する力
課題解決力 …解決のための仮説を立て、それを検証するために行動する力
原因分析力 …課題の背景や要因を、複数のデータに基づいて多角的な視点でとらえる力
受信力・発信力 …人の話を傾聴し様々な情報を受け取る力、自分の考えをわかりやすく相手に伝える力
協働力 …他者の価値観を尊重しつつ他者と協力し、一つのものを成し遂げる力
行動力 …自分の掲げる目的を達するために、主体的かつ計画的に実行する力
自己管理能力 …基本的な生活習慣を確立し、健康と安全を意識して行動する力
自己実現力 …社会の中で生きる自分を想像し、多くの情報を活用して実現させようとする力

ここまでは「志望理由書に書く項目」「志望理由書と探究活動の関連性」「探究活動に必要とされる青高力」について記述してきました。結論から言うと、日々の授業や行事・部活動に対して、自ら目標を設定し能動的に取り組んでもらいたいということです。その積み重ねによって様々な資質・能力が身に付き、多くの成功体験・失敗体験をすることで、自分だけの高校物語を創っていくことができます。経験からの振り返りを通して内省がなされ、自分自身で「好きなことは何か」「できることは何か」「なすべきことは何か」ということが見えてきます。この3つが重なった部分が研究テーマになるのかもしれませんが。その研究テーマをするために、大学で学びたいことや自分の動機・意思を伝える資料が志望理由書になります。学びたいことや自分の意思・動機がないままに志望理由書を書こうとしても読み手側に伝わらなかったり、誰でも書けるものになってしまいます。

自分が本当に取り組みたい研究テーマは何かを今のうちから考えていきましょう。そうは言っても、研究テーマが思いつかないという人は大学のホームページを参照してみましょう。その際大学院の研究室まで調べるとその大学の研究内容がより明らかになるでしょう。大学によってはオンライン講義で様々な講義を無料受講させてくれています。以下は京都大学・東北大学で開催予定の講義です。興味のある人は是非申し込んでみてください。

い。



【東北大学AO入試】

今年度の東北大学AOⅡ期の合格者は7名でした。

(内訳：文学部2名・理学部2名・工学部3名)

AOⅢ期の詳細は以下です。

- ・志願受付 令和4年1月20日(木)～24日(月)
- ・第2次選考 令和4年2月12日(土)
- ・出願書類 志望理由書(活動報告書…文, 経済, 医, 歯, 薬, 工)
- ・選考方法 面接(筆記…医, 工 課題論文…教育)

※理学部生物と農学部は、面接の参考とするために小作文を課す(評価には含まれない)。